爽風

『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』
～「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」・「他への貢献」～

西合志南中学校
学校通信
令和5年7月21日
第　5　号
発行責任者
大山　寛
井上　竹久

前期前半終了
～自立した夏休みの生活を～

七月二十日を持って前期前半が終了しました。振り返ってみると、四月は始業式及び入学式。五月は体育大会や生徒総会。六月には中体連と様々な行事がたくさんありその一つ一つを通して西南中生の大きな成長を見ることができました。

生徒達それぞれに様々な思い出が残っていることでしょう。

二十一日からいよいよ夏休みです。前期後半の準備のためにも身体も、心もしっかりと休め、部活動や勉強、日頃できないことへの挑戦など、充実した夏休みにしてほしいと思います。また元気な姿で再会できるのを楽しみにしています。

校長室便り

No.05
校長　大山　寛

夏休みは自立（自立）・成長の機会です「一生懸命」が大切

先週から県中体連大会が始まり、女子ソフトテニス、新体操の皆さんが、一生懸命取り組んでくれました。今週の土日は、県中体連６種目と吹奏楽コンクールがあります。今までの練習の成果を十分に発揮し悔いの残らないよう一生懸命取り組んでください。応援しています。

さて、今日で前期前半が終わります。４月の始業式から始まり、入学式、体育大会、生徒総会、中間テスト、中体連と様々な行事がありました。これまで、「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」「他への貢献」を目標に、がんばることができた人、残念ながらできなかった人、様々とは思いますが、ぜひ、「当たり前の事は当たり前に」、そして「自分のために」、「まわりの人のために」を意識して生活をしていってほしいと思います。

また、いよいよ明日から夏休みです。

夏休みは、皆さんにとって、自立（自律）するため、成長させるための大変大切な機会となります。これまでを振り返り、生活面や学習面で設定した夏休みの目標をぜひ達成させてください。その土台となる取組が、Myプロジェクトの３つ、自分で起きる、朝食をとる、自ら計画的に学習する、そして各家庭で行ってもらうHomeプロジェクトの３つ、挨拶をする、家事分業をする、会話をする、というプロジェクトです。このプロジェクトと共に苦手教科の克服や９月に行われる期末テストに向けてしっかり取り組むこと、また部活動や自分の習い事等も一生懸命がんばってください。

ここで、ひとつだけ話をします。今から２０年くらい前に、ユニセフ日本代表の方の講演をお聴きしたときの言葉が大変印象に残り、今も話す機会があるときには紹介をしています。その言葉とは、戦国武将の武田信玄がいった言葉と言われている言葉で、**「いい加減だと言い訳が出る　中途半端だと愚痴が出る　一生懸命だと知恵が出る」**です。「いい加減」に取り組むと、「自分は悪くない」「まわりが悪い」「時間が無かった」などと「言い訳」がでてくることが多くなります。

また、「中途半端」に取り組むと、「何できちんとやっているのにできないんだ」などと「愚痴」がでてくることが多くなります。この時はたいてい自分でよく考えずに言われたことだけをやっている場合が多いようです。

しかし、「一生懸命」取り組んだときは、何か工夫しようといい考えや知恵がでてくることが多くなります。たとえ、いい結果が出なくても、「一生懸命」に取り組んでいれば、何かは得ることも多くでてきます。ぜひ、この夏休み、何かに「一生懸命」、取り組んでください。

最後になりますが、夏休み中、安全に生活をして、何よりも命を大切にして生活を送ってください。悩みがあったときは、身近な友達や大人、学校または相談機関等に相談してください。

８月２８日、みなさんが元気に登校してくれることを楽しみにしています。

（夏休み前集会校長講話より）

「いい加減だと言い訳が出る　中途半端だと愚痴が出る
一生懸命だと知恵が出る」
ぜひ何かに「一生懸命」取り組みましょう

三者教育相談　大変お世話になりました

二週間にわたり実施いたしました三者教育相談は、大変お世話になりました。中には大雨の日もあり、来校が大変だったご家庭もあったかと思います。教育相談の中で夏休みの生活についてお話もあったかと思いますので、ご家庭での声かけや見守りをよろしくお願いします。
ご協力ありがとうございました。

情報モラル教育講話を実施しました

7月18日(火)に情報モラル教室を実施しました。現代社会は society5.0 時代に突入しており、情報機器を使うことが当たり前の世の中になっております。

そこで、情報発信による他者への影響を考えること、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持たせること、そして、犯罪被害及び加害を含む危険の回避など情報社会において正しい判断や望ましい態度を育てることをねらいとして本教室を行いました。

今回は講師として熊本県警察本部からお二人の講師をお招きし、実際に事件となった事例などを紹介して頂きながら、わかりやすく説明して頂きました。

夏休み中は、スマホ等を始めとした情報機器に触れる機会が数多くあります。今回の学習をきっかけとして、自分の情報との関わり方について考えてほしいと思います。また、家庭でもお子様と是非話をして頂きたいと思います。

今回の情報モラル教室が各種報道でも取り上げられます！

- 熊本日日新聞　７月 30 日付け朝刊にて掲載
- 広報こうし　　１０月号にて掲載
- KKT ニュース　現在サイトにて公開中　リンク